

	世界的な植物学者 牧野富太郎が命名した 日本一のセンダイヤザクラが見ごろ
見 ご ろ	4月1日ごろまで
場 所	牧野記念庭園(東大泉 6-34-4) 午前9時~午後5時 入園無料(火曜休園)
<p>世界的な植物学者、牧野富太郎博士の住居跡を整備した区立牧野記念庭園(東大泉6丁目)で、サクラ類が次々に開花し、訪れる人々を楽しませている。</p> <p>その中でも、今が見ごろのセンダイヤザクラは高知県高知市内の仙台屋という店の前にあったもので、牧野博士が命名した。</p> <p>センダイヤザクラの成木は日本では数少なく、親木は既に枯死している。<u>牧野記念庭園にあるセンダイヤザクラは、日本では一番の大木とされていることから、庭園のシンボルとなっている。</u></p> <p>同園ではセンダイヤザクラのほか、ソメイヨシノやエゾノウワミズザクラ、牧野博士が発見したウスガサネオオシマなども今週末に見ごろを迎え、様々な種類のサクラが楽しめる。</p> <p>園芸相談員は「これからはヤマザクラや、その後にヤエザクラの季節になり、次々とサクラの開花が楽しめます。ぜひお越しください」と話している。</p>	



センダイヤザクラ (3月29日撮影)

【センダイヤザクラについて】

センダイヤザクラ(正式名称:センダイヤ)はヤマザクラの栽培品種。開花期はソメイヨシノよりもやや遅く、花は淡い紅紫色。ねりまの名木に登録されている。



センダイヤザクラ (3月29日撮影)

【牧野記念庭園について】

牧野富太郎博士が大正15年から94歳で亡くなる昭和32年まで居住し、自らが採取してきた植物を植え、「我が植物園」として愛した住居跡を整備した庭園。

博士の死後、この植物学ゆかりの聖地を広く一般に開放し、博士の偉業を末永く後世に伝えようと、練馬区が昭和33年に開園した。園内には300種類以上の草木類が植栽されており、スエコザサ、センダイヤザクラ、ヘラノキなど、大変珍しく学問的にも貴重な植物を多数見ることができる。



牧野記念庭園入口

交通案内:西武池袋線「大泉学園駅」南口下車 徒歩5分

開園時間:午前9時~午後5時 / 入園無料

休園日:火曜(火曜が祝休日にあたる場合は、その直後の祝休日でない日を休園)、年末年始